



カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

メイプル

東北

Vol.18

ロッキーを代表する神秘的な湖

タンポポ咲くマリーン湖

ジャスパー国立公園の中心の町、ジャスパー東部にあるマリーン湖。氷河が生んだ湖としては世界で2番目の大きさを誇る湖。ロッキーの代表的風景の一つである、スピリット・アイランドへは遊覧船で渡ることできます。瑠璃色の湖面と針葉樹、雄大な山並みと花々が織りなす美しいコンビネーションは、訪れる人の心に忘れられない思い出を刻み入ります。

NEWS

● クリスマスパティー Christmas Party 1999

12月13日 [江陽グランドホテル]

12月13日、ボランティアの皆様の協力のもと、110名の会員を迎えクリスマスパーティーを盛大に開催することができました。お招きしたカナダ大使館のデニ・コモ公使、スティーブン・キハラ二等書記官、常盤木学園の松良百合子先生とともに、一足はよいクリスマスを楽しみました。

「カナダ協会のクリスマスパーティーによろこそ」という明間会長の挨拶の次に、コモ公使からスピーチがあり、その後アトラクションへと会は進みます。常盤木学園のマリンバ演奏で幕を開けたアトラクションは、歌曲独唱、大原一治さんと瀬戸勇さんによる息の合ったギター演奏へと続き、会場の雰囲気盛り上げました。ビンゴゲームではサンタクロースとエルフが登場。アレックスさんは貫録十分のサンタクロース姿で、エルフ役のレンピさんは手作りの衣装で参加してくれました。

時が経つにつれてあちこちで交流の輪が生れ、楽しくなごやかな会となりました。

ボランティアの皆様、景品にご協力下さった法人会員の皆様ありがとうございました。



● ケベック州フードフェア Quebec Food Fair in Sendai

10月15日～17日 [イトーヨーカドー泉店]

10月15日から17日まで、ケベック州のフードフェアが始めて仙台で開催されました。メイプルシロップ、ワイン、カノーラオイル、ジャム、ハーブティー、ピートモスなど約50品目が展示・即売されました。

ケベックにはカナダを代表する産品が数多くあり、特にメイプルシロップは、ケベック州が全世界の80%を生産しています。日本での知名度も年々高まり、輸入量も年率20%上昇しています。また、園芸用飼料のピートモスはケベックが有力な産地です。

カナダの大自然とフランスの食文化が融合して生まれたケベックの食品。"Plaisir d'amour" (愛の喜び) というワインもあり、ケベックにおけるフランス系文化の奥深さが感じられました。

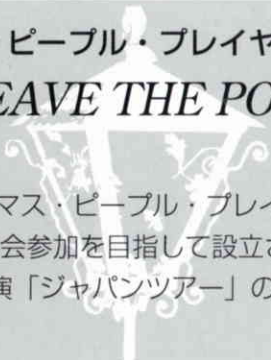


カナダの人形劇団 フェイマス・ピープル・プレイヤーズ仙台公演「灯火をいつも玄関に」 Famous PEOPLE Players LEAVE THE PORCH LIGHT ON

11月9日・10日 [電力ホール]

11月9日と10日、カナダの人形劇団フェイマス・ピープル・プレイヤーズ (FPP) の公演が仙台で行われました。FPPは1974年に知的障害者の自立と社会参加を目指して設立され、トロントを拠点に活躍しています。

今回の仙台公演はFPP設立25周年特別講演「ジャパンツアー」の一環として開催され、ダイナミックで幻想的なステージは多くの観客に感動を与えました。



お知らせ

カナダ海軍艦船が仙台を親善訪問します

Canadian Naval Visit to Sendai

2000年4月25日～28日

今春、カナダから2隻の艦船と400名の乗員の皆さんを仙台にお迎えすることになりました。カナダでは2年に一度、親善のため海軍艦船を日本に派遣していますが、通商、歴史、文化の面で密接な関係を持つ地域との絆をさらに強めたいという意味で、今回始めて訪問地として仙台が選ばれました。

東北とカナダ間の貿易の多くの部分が仙台地域を通して行われていること、カナダの第二次大戦の英雄、グレイ大尉が女川湾に眠っていること、艦船の母港、ビクトリア市と盛岡市が姉妹都市締結15周年を迎えたことが訪問の背景となっています。

寄港中は、レセプション、経済セミナー、フードフェア、乗員との交流プログラム、アイスホッケーの親善試合、船内の一般公開などさまざまな行事が企画されています。

当協会としても、今回の訪問にできる限りの協力をいたします。寄港中に催される行事の詳細については、随時会員の皆さんへお知らせいたしますので、皆様のご協力とご参加をお願いします。

カナディアン・バロック・オペラカンパニー 「オペラ・アトリエ」仙台公演 “Opera Atelier”

オペラ・アトリエは、現在さまざまな演出方法によってアレンジされているオペラや演劇の名作を初演当時の上演方法で演じているユニークな団体です。国際的に評価の高いソリスト陣、当時のオリジナルな手法を用いた舞台装置、細部にまでこだわった優美な衣装が特徴です。当協会は本公演を後援しています。

日 時

6月6日(火) 18:30～

場 所

宮城県民会館

演 目

モーツァルト作曲「ドン・ジョバンニ」

チケット購入

各プレイガイド

S席 12,000円

A席 10,000円

B席 8,000円

お問い合わせ

河北新報社事業局事業部 ☎022-211-1332

LETTERS TO MAPLE

「カナダ人シスター」との思い出 佐々木弘子さん

「カナダ」の文字を見、「カナダ」と言われる時、昔日を髣髴とさせるものがある。

何年か前の10月1日、あるカナダ人シスターが日本の羽田空港に到着、仙台は一本杉の教会に来られた。彼女はカナダの大学を卒業後、聖ウルスラ会修道院に入会、終生の誓願を立てて来日したのである。

当時私は、大学卒業後、英語学の研究生であったが、その先輩の要請により、日本語教師を命ぜられた。その指導は、彼女が到着して3日目より始まったのである（疲れて居られたであろうに）。私は研究の傍ら、徒歩とバスで40分位の道程を、一本杉の聖ウルスラ修道院まで毎日バスで通った。

早い上達を目指すため、「話し言葉」より始め、理解を助ける最後の手段は英語で行った。あのテキストは、「軍人のために書かれたもの」と記憶しているが実に良いものだった。

一つ机に向かい合い、大きい声に出して、何度も何度も繰り返す、その熱中ぶりは、すさまじいものだったが楽しかった。日本語（日本文化すべての面を含む）と一緒に考え、又共に悩み、答えを出していった。

The word, "Shidare yanagi, Shidare yanagi..." means a weeping willow というように…。その日の授業は、宿題を出して終了なのである。宿題の出来具合は完璧で、その日その日の授業は、私の説明が吸いとられる如きスムーズな流れで、彼女の理解力はすばらしいものだった。

聖ウルスラ学院高校の文化祭（学園祭）の書道展では、彼女に、その場に置かれていた毛筆で「何かを書いて欲しい」と言われ、拙い筆（特に書道に於ては）の私は閉口したが、実際に毛筆を持ち（筆の持ち方を指導しながら）一文字書いて（厳密には、筆の持ち方を解って頂ければ良い、と考えつつ）みせた。（その筆跡は、想像もつかないであろうが?!）

3年程して、彼女は、高校の副校長にまでなった。英語教師として教壇にも立っていた。（英語の指導は、日本語を使うべきでない、というのが彼女の持論なのである。）

私もかつては、同校で教鞭をとっていたが、その後、他校に転じ、更に勉強と仕事を続ける狭間で、仲介役の同校の友人教師が亡くなられたこともあって、彼女と会えるチャンスも無いままに、いつしか時が流れていったのである。

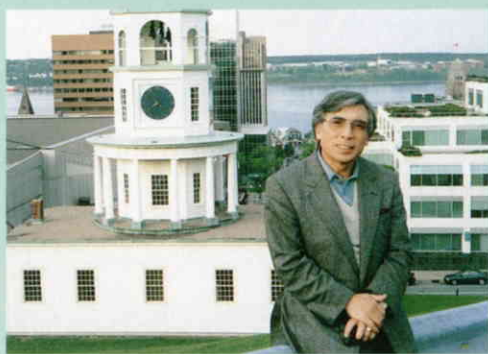
その後、彼女は病に倒れ、（それも後で聞いた話で、いかに彼女は修道院にて手厚いペールに包まれて、保護されていたか、知る術もなかったのだが…）カナダに帰国したというのである。「うまい日本語を話したシスター」等と聞くにつけ、もっと頻繁に会える手立はなかったのか、と後悔のみが残るのである。

「日本名を付けて欲しい」という彼女の願いも果たせぬままに、現在に至っている。私は「祈りの生活者」ではないが、日々彼女のために祈りを捧げている。いつの日にか、きっと「彼女に付けた日本名」を携え、彼女がこよなく愛した日本は、仙台の「土」を持ってカナダを訪れ、彼女との再会を是非果たしたい。カナダは、忘れられない、私の最愛の人の住む国、そして又私の憧れの国なのである。



▲カナダ「ブッチャーズガーデン」にて

私の小さな国際親善 大原一治さん



▲カナダ「ハリファックス」にて

客は私一人だった。「僕が歌おうか、ギターをちょっといいかい？」コードをほんの少し押さえられる。ギターを肩に、日本語で、「青葉城恋歌」を歌ってみた。

上手くはない、客は来なかった。観客は彼一人だった。彼は指揮者よろしく、もっと声を出して、とか、おだやかにとか、身振りでいろいろ指示してくれた。

ギターを返すと、彼は「言葉はわからないが、良いメロディだね！良い歌だね」と言ってくれた。客は来なかった。別れ際、一枚の写真を撮ったが、名前も住所も聞かず握手して別れた。爽やかな、ほのぼのした北国の早春の宵であった。ほんの一時のふれあいであったが、一枚の写真をみると、あの潮風の感触と共に楽しい思い出がよみがえる。

◎Letters to Maple（メイプルへの
の便り）欄にお便り募集

メイプルにお便りをお寄せ下さい。
カナダに関することならなんでも結構
です。おハガキ、封書またはFAXで、
当協会宛にお送り下さい。

2000年3月発行

発行人/東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada-Japan Society
〒980-8550 仙台市青葉区一番町三丁目7-1
東北電力（株） 地域交流部内 TEL. 022-225-3052（直）
FAX. 022-227-8390